

# 2022 かわまちフェスタの 実施報告

▼チェキで記念撮影



2022/9/1

北海道情報大学・経営情報学部  
先端経営学科 藤本ゼミナール

# 1. はじめに

## ▶ 藤本ゼミの概要

- 活動内容：地域活性化プロジェクトの企画・運営

### ▼かわまちフェスタの実施体制

【指導教員】  
藤本直樹 准教授

北海道情報大学・経営情報学部  
先端経営学科 所属

指導  
助言

【三年生】 6名 ※五十音順

- ・ 安樂 瑛久
- ・ 大橋 拓真
- ・ 鈴木 翔斗
- ・ 杉谷 大輝
- ・ 高橋 ひかる
- ・ 松田 啓杜

+

四年生  
6名

- ・ Soup店主 境 珠美さん
- ・ 江別河川事務所の皆様

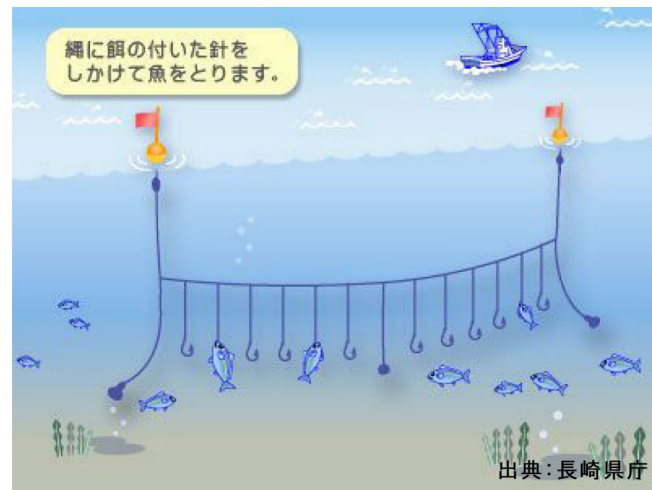
協力  
支援

# コンテンツ（ミズベリビング江別）

3

- 河川防災ステーション裏の千歳川にて  
廃タイヤのチューブを用いて、川に**プカプカ**浮かぶ

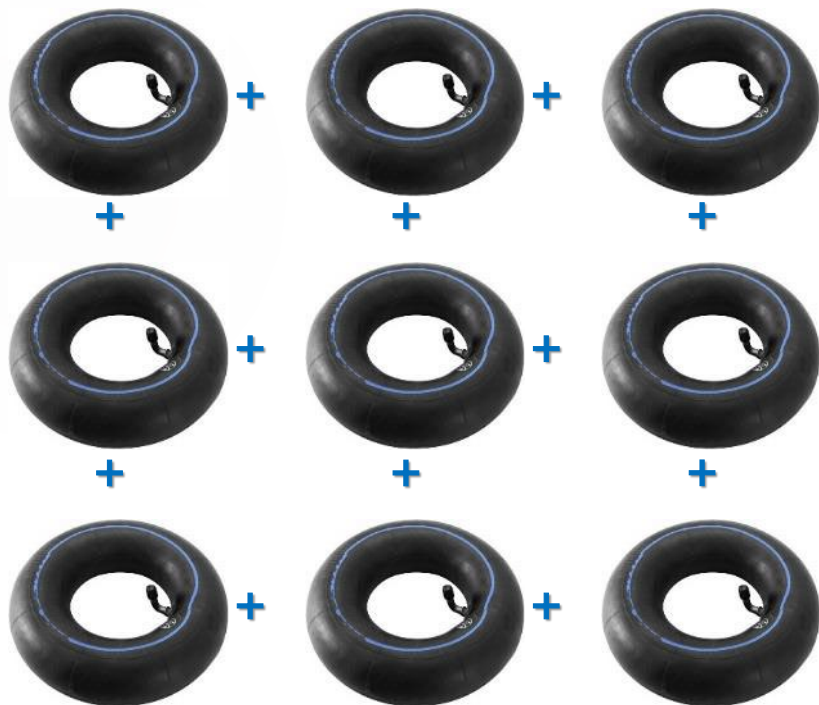
川岸と川岸を大きなロープで繋ぎ、  
個々のチューブを子ロープで繋ぐ  
(延縄漁を参考にした)



- ▶ ライフジャケット着用の上で行う  
※安全・安心な新しい催し
- ▶ プカプカするだけなので**体力が無くてもOK**  
※子どもや障がい者でも楽しめる
- ▶ 本やスマホなどを自己責任で持ち込んでOK

# コンテンツ (ミズベリビング江別)

川の水上にいくつかの**浮島**をつかって芝や布団を敷き、  
まるで**本当のリビング**のようにしたい



# 企画・準備段階

## 2. イベント内容の企画

### ▶ 水辺のアクティビティ

- **ぶかぶか**の事前準備や安全確保が間に合わず
- 河川事務所や石狩川振興財団の既存メニューを活用
  - 北海道開発局が保有する河川調査船「**弁天丸**」の運行
  - 石狩川振興財団が保有する「**Eボート**」の運行
    - ✓ Eボートは、ゴム製の10人乗りカヌー(**E**njoy, **E**asy, **E**cology, …)

### ▶ **水辺 + 駅前 + 真願寺**での同時開催

- 水辺だけでなく、条丁目地区にも**回遊動線**を作る
- チラシや宣伝の**一元化**、同時開催による**集客**
- ① JR江別駅前での瑞穂のしずく販売、かき氷など
- ② 真願寺での「鉄道の会」による展示や歴史的講話

# 2. イベント内容の企画

## ▶ チラシの作成とプロモーション

### 2022 かわまちフェスタ

同時開催 真願寺で鉄道に触れよう!

幼稚園児・保育園児の鉄道塗り絵、江別にゆかりある鉄道模型の展示、江別の歴史を写真と共に語り合う  
※真願寺（江別市7条8丁目6）

7月30日-31日

---

べんてんまる につつまよう

7月30日・31日

ふねにのって ちとせ川をたんけん  
クイズにちょうせんして  
川はかせをめざそう!



事前申込はこちらから →  **【無料・事前予約制・先着順】**  
申込期限7月27日 対象：5歳～小3（身長110cm以上）

---

Eボート で川くだり

7月30日のみ

Eボートにのって 川くだりしよう!  
インストラクターさんがいるから  
はじめてでも安心!



事前申込はこちらから →  **【無料・事前予約制・先着順】**  
対象：小学生～（身長110cm以上）

---

瑞穂のしずく販売会

7月30日・31日

300本限定!!  
**1本 500円(税込)**



江別産の酒米と江別神社の御神水で作った瑞穂のしずく。江別駅開業140周年記念ラベルで販売します。  
日時：30日10:00～16:00  
31日10:00～15:00  
場所：江別駅前（駅を出てすぐ）

主催：北海道情報大学・藤本ゼミ  
【問合せ】 fujimoto@do-johodai.ac.jp  
協力：国土交通省江別河川事務所（一財）石狩川振興財団

北海道の水辺の観光情報サイト **かわたび** ほかかいどう 

### タイムスケジュール

各回の定員あり。事前申込み・先着順。 各回の定員あり。事前申込み・先着順

30日(土)

- ・ 10:30～11:30 弁天丸①
- ・ 11:40～12:40 弁天丸②

---

- ・ 13:00～13:40 Eボート①
- ・ 13:50～14:30 Eボート②
- ・ 14:40～15:20 Eボート③

31日(日)

- ・ 13:00～14:00 弁天丸①
- ・ 14:10～15:10 弁天丸②
- ・ 15:20～16:20 弁天丸③

※31日は、Eボートがありません

問合せ：fujimoto@do-johodai.ac.jp 090-6871-1788（情報大・藤本）

---

### 注意事項（保護者の方へ）

- ・ Eボートと弁天丸には、親子でご参加いただけます。
- ・ ライフジャケットが110cm以上対象のため、身長制限を設けています。
- ・ 弁天丸には、未就学児(小学生未満)は保護者同伴でご参加ください。
- ・ Eボートには、濡れてもよい服装でご参加ください。
- ・ 参加される方は、開始15分前までに受付へお越しください。
- ・ 事前予約は、表面のQRコードから行ってください。メールアドレス、お名前、電話番号をご記入いただけます。
- ・ お申し込み後、担当者より受付メールをお送りします。受付時に使用しますので、当日まで保管をお願いいたします。
- ・ 大雨等による中止の場合、当日朝に申込者に電話で連絡します。



王子エフテックス 石狩川 江別河川防災ステーション 消防署 コミュニティセンター 真願寺 旧江別小 瑞穂のしずく販売場所 東光橋 千歳川 泉の沼公園

岩見沢方面 → 12 江別河川防災ステーション ※受付1階

## 2. イベント内容の企画

### ▶ まんまる新聞への掲載記事

#### 広告

#### 7月30日・31日 かわまちフェスタ

江別市条丁目地区の地域活性化を目的としたイベント「かわまちフェスタ」Ⅱ写真Ⅱが7月30日(土)と31日(日)に開催される。北海道情報大学経営情報学部先端経営学科准教授の藤本直樹氏のゼ

ミ生たちが企画・運営。子どもたちを対象とした「べんてんまるのつてみよう」、Eポートで川くだり「ほか、江別産の酒米と江別神社の御神水で作った瑞穂のしずく」をJR江別駅開業140周年記念ラベルで売り出す「販売会」などを行う。

地域活性化をテーマに研究・学習する藤本ゼミの学生たちは、千歳川と条丁目地区の持つ魅力を活かした「かわまちフェスタ」Ⅱについて考える勉強会に出席するなど、地域貢献・社会貢献のプロジェクト活動を積極的に進めている。今年2月に同地区で行われた「エキテラ」にも参加。

同フェスタは国土交通省江別河川事務所、(一財)石狩川振興財団の協力などを受け、同エリアに人を呼ぶ夏の行事として企画された。

調査船・弁天丸に搭乗し、千歳川を探検するほか、船内では学生によるクイズなども楽しめる「べんてんまるのつてみよう」は、30日の午前10時30分～11時30分と午前11時40分～昼12時40分の2回、31日には午後1時～2

時午後2時10分～3時10分、午後3時20分～4時20分の3回予定されている。対象は5歳～小学校3年生、ライフジャケットを着用するため身長110cm以上で、料金は無料。定員は各回8人ほど(小学未満は保護者同伴で乗船。7月27日(水)まで、事前予約フォーム([https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfaj9\\_fFKH9BnVaU3coW7yoRMQizgMnJBi9-nTzdyrl6SxfGWQ/viewform?usp=st\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfaj9_fFKH9BnVaU3coW7yoRMQizgMnJBi9-nTzdyrl6SxfGWQ/viewform?usp=st_link))で参加者を募っている。

ゴム製カヌーのような舟を使う「Eポートで川くだり」は30日に午後1時～1時40分、午後1時50分～2時30分、午後2時40分～3時20分の3回実施。対象は小学生以上(ライフジャケットを着用するため身長110cm以上)で料金は無料。定員は各回8人。7月27日(水)まで、事前予約フォーム([https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSddIZ0cZS2s4UussQ6aqax4rWQeFOduD2mnEPenZXIfavE2w/viewform?usp=st\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSddIZ0cZS2s4UussQ6aqax4rWQeFOduD2mnEPenZXIfavE2w/viewform?usp=st_link))で参加者を募っている。いずれも当日の受け付けは江別河川防災ステーション1階(大川通6)。

このほか、両日午前10時～午後4時(31日は午後3時まで)、同駅前「瑞穂のしずく販売会」も開催。鉄道好きの市民らでつくる「えへっ1」1会が制作した記念ラベルの瑞穂のしずくを1本500円(300ml)/300本限定)で販売する。

また、えへっ1/1会では両日、眞願寺(江別市7条8丁目)で、子どもたちが着色した塗り絵、江別ゆかりの鉄道模型の展示、江別の歴史を写真とともに振り返り、語り合う事業も計画している。

問／藤本さん ☎090-6871-1178 ☒ [fujimoto@do-johodai.ac.jp](mailto:fujimoto@do-johodai.ac.jp)





## 2. イベント内容の企画

### ▶ チェキ（インスタント写真）の利用



## 2. イベント内容の企画

10

### ▶ 子ども向けクイズの実施



# イベント当日の様子

---

# 3. イベント当日のようす

## ▶ 受付



# 3. イベント当日のようす

## ▶ Eボート



# 3. イベント当日のようす

## ▶ 弁天丸



# 3. イベント当日のようす

## ▶ JR江別駅前



# 3. イベント当日のようす

## ▶ 真願寺





# 3. イベント当日のようす

## ▶ その他① 障がい児の母娘



### ▼長谷川さんからのメール(原文まま)

31日に急ぎょ乗船させてもらいました長谷川です。  
突然の事なのに快く参加させていただきとてもうれしかったです。  
また、皆さんに娘の介助もしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。  
障害があると制限があり、中々体験させれないことも多く今回はとても貴重な体験でした。

皆さんは障害者に慣れているのでしょうか？

とても心配りができていてビックリでした。

これからも色々と健常者と一緒に…  
障害者も楽しめるようなことが増えるといいなあと思います。

また、機会があれば参加させていただけたらと思いました。

暑い夏本番ですが、どうか体調崩されずにこれからも頑張ってください。  
本当にありがとうございました！

長谷川みどり、望乃

# 3. イベント当日のようす

## ▶ その他② 北海道新聞の取材

第3種郵便物認可

北海道新聞

2022年(令和4年)8月26日(金曜日)



## 学生動けば江別変わる

### 石狩川遊覧ツアー好評 ■ 町並みバーチャル再現

【江別】北海道情報大の藤本直樹准教授(都市計画)のゼミナールが、条丁目地区の活性化に取り組んでいる。7月下旬には札幌開発建設部江別河川事務所などと協力し、水辺を楽しむイベント「2022かわまちフェスタ」を開催した。バーチャル空間で市内の町並みを再現するプロジェクトにも着手しており、学生らは「江別の活性化に貢献したい」と話している。(十門寛治)

「向こうに橋が見えるよ」。7月30日、石狩川を航行する調査船「弁天丸」の船中。子どもたちが声を上げた。江別河川防災ステーションを出発した船は新石狩大橋で折り返す約40分のコースを航行。参加者はシヨウドウツパメの菓などを船上から見学した。同31日にも実施し、両日で35人が参加した。主催したのは社会貢献や地域活性化を学ぶ藤本ゼミの学生たち。3、4年生計12人が所属し、市民に条丁目地区や市内の川に親しんでもらおうと企画した。

きっかけは昨年9月、同ゼミの現4年生が国の築堤事業に合わせ条丁目地区を再整備する「かわまちづくり計画」の勉強会に参加したことだった。地域活性化策のアイデアを発表したところ、河川事務所などの協力につながった。当初は昨年実施するはずだったがコロナ禍で実現できず、思いを引き継いだ今年の3年生が運営を担った。4年生の小松将大さん(ひ)は「発案した企画などを先輩が実現してくれてうれしい」と話し、3年生の大橋拓真さん(20)は「自分たちが計画を進めるのは大変だったが達成感がある」と学びを深めている。

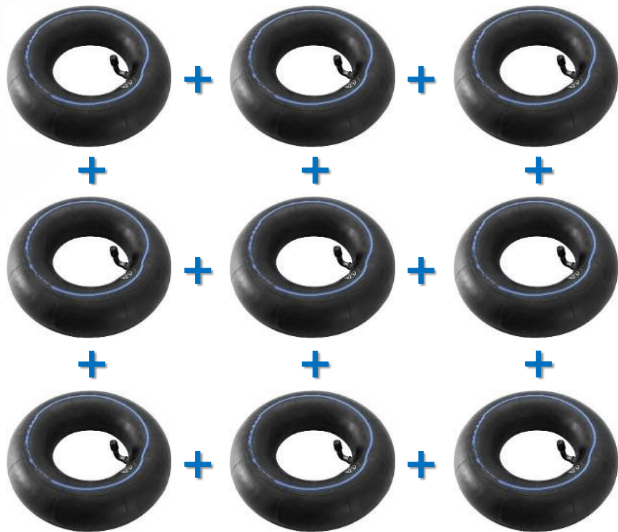
同ゼミでは本年度、市の補助金を活用し、同大の向原強教授のゼミと共同で建物や街を作るゲーム「マインクラフト」で条丁目地区など市内の町並みを再現するプロジェクトも始めた。仮想空間を活用することで地域の魅力や課題を再発見できるという、年度内に試作品を作って子ども向けのワークショップなどを開催する考えだ。

藤本准教授は「学生が地域に足を運ぶことでマチは変わる。他大学の学生も含め、若い世代が条丁目地区に関わっていただけるよう活動を広げていきたい」と語った。

◎企画などについて話し合う藤本ゼミの学生ら  
◎調査船「弁天丸」で石狩川を遊覧した「かわまちフェスタ」の参加者

「条丁目」活性化 情報大の藤本ゼミ貢献

# ぷかぷか実証実験



# 4. ぷかぷか実証実験

## ▶ 必要な資器材

▼ バイク用チューブ



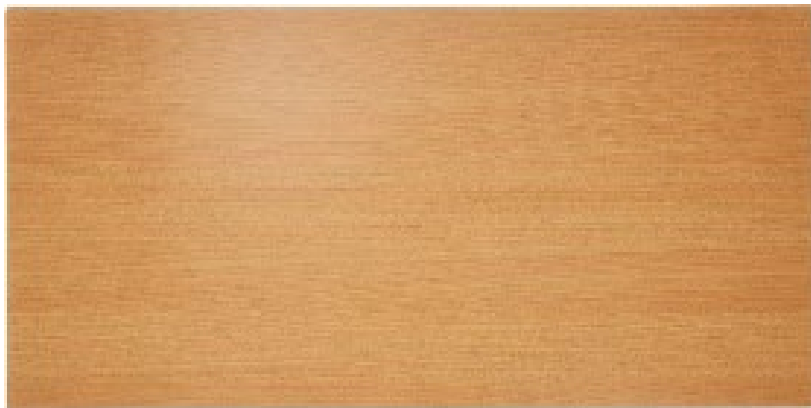
▼ タイヤ固定ベルト



▼ 電動空気入れ



▼ コンパネ



▼ ラグマットor人工芝





ご清聴ありがとうございました。